

広島県知事の湯崎です。

今日は、広島市西区観音にある「マリーナホップ」に来ています。

現在、県では、「広島積極ガード宣言」“攻めの第2波対策”の様々な取組を行っています。

そのひとつとして、お店や施設の皆さんにも「広島コロナお知らせQR」の取組をお願いしています。

こちらはマリホ水族館です。入ってみたいと思います。

知事「こんにちは」

マリホ水族館館長（以下、館長）

「いらっしゃいませ。マリホ水族館では、コロナ禍の対策として、並ばれるお客様に距離を取っていただいています。熱や体調がすぐれないお客様には入館をご遠慮いただいています。また、中でも距離を保っていただくとともに、マスクの着用もお願いしています」

館長「こちらにコロナのQRを掲示しています。入り口で大きく出しております」

知事「早速、取ってみたいと思います。これだけですからね。簡単ですよ」

《パネルとナレーション》

お客さんが施設などに設置してあるQRコードを読み取ってメール登録しておくと同じ時間帯の利用者に感染が確認された場合、速やかにお知らせしPCR検査の申込までをスムーズにサポートするサービスです。

館長「水族館としても、いろんな取組をしているのですが、万が一、お客様の中で感染者が出てしまった場合でも、すぐに通知がいきますから重要な取り組みだと思っております。こうした取組は、マリーナホップ全体でも取り組んでいることなので、お客様には安心してきていただきたいと思っております」

館長「まずは消毒をお願いします」

知事「外からウイルスを持ち込まない。ここも重要な防御線ですね」

館長「(マリホ水族館では) チケットを買う時にも紙で注意事項を渡しています」

知事「広島コロナお知らせ QR もついているので、もう一度ここで登録してもらっても良いですね」

この「広島コロナお知らせ QR」は、ご利用いただく方が多ければ多いほど、効果が大きくなります。

事業者の皆様は、積極的にご自分のお店や施設用の QR コードを、県のホームページで、申込み、発行を受けてください。

そして、県民の皆さんもお店や施設に入る際には、QR コードを必ずチェックしていただき、施設ごとのウェブページが出てくるのでメールアドレスを登録ください。